

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3609		
科目名	スポーツ運動学演習		
担当教員	宮内 育大		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 1		
講義室	1502	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP6-K〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 E1 学識・専門技能（60%） G1 状況把握（20%） K2 オーラル・コミュニケーション（20%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本演習では、現象学的な発生運動学の立場からスポーツ技術の分類、運動の系統発生、運動の習得と修正、動きの形成について種目横断的に検討します。これによって自身が携わる競技種目について、一般論的な広い視点からの理解を促し、自らの競技力向上やコーチングに活用する方法を学びます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード：現象学、運動モルフォロジー、動感		
授業の趣旨	■副題 スポーツ運動学の知識を応用し、競技者および指導者としての気づきを探る ■授業の目的 スポーツ技術の分類、運動の系統発生、運動の習得と修正、動きの形成についての一般論的な内容を議論の中で理解し、自身が携わる競技種目の視点に置き換え、その活用方法について検討することができることを目的とします。 ■授業のポイント スポーツ運動学原論で学んだ知識を実際にどのように自身の活動に生かしていくかについて、さらなる知識の獲得とそれに伴う実践を通して学びます。		
総合到達目標	■スポーツ技術の分類、運動の系統発生、運動の習得と修正、動きの形成についての一般論的な内容を議論の中で検討し、自身が携わる競技種目の視点に置き換え、その活用方法について理解することができる。		

	・スポーツ運動学で用いられる用語や具体的な研究方法について理解し、その解釈について説明することができる。（第1回～第2回） ・競技者および指導者にとって必須の運動の見抜き力について、演習を通してその仕組みについて説明することができる（第3回～第11回） ・スポーツ技術や運動の習得などについて体系化を行い、総括的にその論拠について説明することができる。（第12回～第15回）														
成績評価方法	■リアクションペーパー（50％）：適用ルーブリック：E1・G1・K2 （評価の観点）運動を見抜き力に関連した各授業回においてその授業内容に即したリアクションペーパーを作成し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）提出後の授業回において、事例を示しながら内容のポイントについて解説します。 ■授業課題（10％）：適用ルーブリック：E1 （評価の観点）競技者の動感やスポーツ技術、運動の習得などに関する知識を体系化した資料作成を行い、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各自発表の機会を設け、授業全体で講評を行います。 ■総括レポート（40％）：適用ルーブリック：E1・G1 （評価の観点）競技者としての動感、指導者としての運動を見抜き観点などについて、総括的なレポートを実施して評価を行います。 （フィードバックの方法）提出後に評価のポイントと良い事例を取り上げ講評を行います。														
履修条件	スポーツ運動学原論[SSCS1308]を履修していること														
履修上の注意点	特にありません。														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ スポーツ運動学原論の振り返り ②授業概要 スポーツ運動学原論で取り扱われた内容について整理し、演習で取り扱う内容についての確認を行い、用語やその意味などを説明することができる（E1、G1）。 ③予習（120分） スポーツ運動学原論の授業資料を確認しておく。 ④復習（120分） 自身で理解が困難な用語の意味や使用方法を調査し整理しておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 運動を見抜き① ②授業概要 試合映像やトレーニング映像から運動の構造・動感を見抜いて説明もしくは提示することができる（G1、K2）。 ③予習（120分） 自身の試合映像やトレーニング風景について確認しておく。 ④復習（120分） 授業内で見ることができた点、できなかった点について整理しておく。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 運動把握のための演習① ②授業概要 運動を把握するためのトレーニングとして「速読」を用いて演習を行い、運動把握に必要な能力を説明することができる（E1・G1・K2）。 ③予習（120分） 速読というキーワードについて調べて整理しておく。 ④復習（120分） 授業内で配布された資料をまとめて整理しておく。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①授業テーマ 運動把握のための演習② ②授業概要 運動を把握するためのトレーニングとして「速読」を用いて演習を行い、運動把握に必要な能力を説明して運動把握実践時に用いることができる（E1・G1・K2）。 ③予習（120分） 前回の授業内容のトレーニング手段について実践しておく。 ④復習（120分） 授業内で配布された資料をまとめて整理しておく。 </td></tr> <tr> <td>6</td><td> ①授業テーマ 動感把握と錯覚① ②授業概要 実際の動きの中に生じる運動感覚について、感じ取ることができる感覚と客観的な動きやデータの情報などを見比べてその違いを錯覚として認識して説明することができる（E1・G1）。 ③予習（120分） 身の回りにおける錯覚について調べ学習をしておく。 ④復習（120分） 認識できる錯覚とできない錯覚の違いについて整理しておく。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。	2	①授業テーマ スポーツ運動学原論の振り返り ②授業概要 スポーツ運動学原論で取り扱われた内容について整理し、演習で取り扱う内容についての確認を行い、用語やその意味などを説明することができる（E1、G1）。 ③予習（120分） スポーツ運動学原論の授業資料を確認しておく。 ④復習（120分） 自身で理解が困難な用語の意味や使用方法を調査し整理しておく。	3	①授業テーマ 運動を見抜き① ②授業概要 試合映像やトレーニング映像から運動の構造・動感を見抜いて説明もしくは提示することができる（G1、K2）。 ③予習（120分） 自身の試合映像やトレーニング風景について確認しておく。 ④復習（120分） 授業内で見ることができた点、できなかった点について整理しておく。	4	①授業テーマ 運動把握のための演習① ②授業概要 運動を把握するためのトレーニングとして「速読」を用いて演習を行い、運動把握に必要な能力を説明することができる（E1・G1・K2）。 ③予習（120分） 速読というキーワードについて調べて整理しておく。 ④復習（120分） 授業内で配布された資料をまとめて整理しておく。	5	①授業テーマ 運動把握のための演習② ②授業概要 運動を把握するためのトレーニングとして「速読」を用いて演習を行い、運動把握に必要な能力を説明して運動把握実践時に用いることができる（E1・G1・K2）。 ③予習（120分） 前回の授業内容のトレーニング手段について実践しておく。 ④復習（120分） 授業内で配布された資料をまとめて整理しておく。	6	①授業テーマ 動感把握と錯覚① ②授業概要 実際の動きの中に生じる運動感覚について、感じ取ることができる感覚と客観的な動きやデータの情報などを見比べてその違いを錯覚として認識して説明することができる（E1・G1）。 ③予習（120分） 身の回りにおける錯覚について調べ学習をしておく。 ④復習（120分） 認識できる錯覚とできない錯覚の違いについて整理しておく。
回	内容														
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。														
2	①授業テーマ スポーツ運動学原論の振り返り ②授業概要 スポーツ運動学原論で取り扱われた内容について整理し、演習で取り扱う内容についての確認を行い、用語やその意味などを説明することができる（E1、G1）。 ③予習（120分） スポーツ運動学原論の授業資料を確認しておく。 ④復習（120分） 自身で理解が困難な用語の意味や使用方法を調査し整理しておく。														
3	①授業テーマ 運動を見抜き① ②授業概要 試合映像やトレーニング映像から運動の構造・動感を見抜いて説明もしくは提示することができる（G1、K2）。 ③予習（120分） 自身の試合映像やトレーニング風景について確認しておく。 ④復習（120分） 授業内で見ることができた点、できなかった点について整理しておく。														
4	①授業テーマ 運動把握のための演習① ②授業概要 運動を把握するためのトレーニングとして「速読」を用いて演習を行い、運動把握に必要な能力を説明することができる（E1・G1・K2）。 ③予習（120分） 速読というキーワードについて調べて整理しておく。 ④復習（120分） 授業内で配布された資料をまとめて整理しておく。														
5	①授業テーマ 運動把握のための演習② ②授業概要 運動を把握するためのトレーニングとして「速読」を用いて演習を行い、運動把握に必要な能力を説明して運動把握実践時に用いることができる（E1・G1・K2）。 ③予習（120分） 前回の授業内容のトレーニング手段について実践しておく。 ④復習（120分） 授業内で配布された資料をまとめて整理しておく。														
6	①授業テーマ 動感把握と錯覚① ②授業概要 実際の動きの中に生じる運動感覚について、感じ取ることができる感覚と客観的な動きやデータの情報などを見比べてその違いを錯覚として認識して説明することができる（E1・G1）。 ③予習（120分） 身の回りにおける錯覚について調べ学習をしておく。 ④復習（120分） 認識できる錯覚とできない錯覚の違いについて整理しておく。														

7	①授業テーマ 動感把握と錯覚② ②授業概要 実際の動きの中に生じる運動感覚について、感じ取ることができる感覚と客観的な動きやデータの情報などを見比べてその違いを錯覚として認識して議論することができる（E1、G1、K2）。 ③予習（120分） 前回の授業内容について整理しておく。 ④復習（120分） 議論された内容について自身の考えと他者の考えの差について比較してまとめる。
8	①授業テーマ 動きを描く① ②授業概要 実際の運動の中に潜む動感について、より見やすく判別しやすくするために、競技場面の一部を切り取りトレーニングペーパーを用いて動感画を作成することができる（E1、G1、K2）。 ③予習（120分） 自身が得なプレーや苦手な動きについて静止画（写真）として取り上げておく。 ④復習（120分） 自身が作成した作画から読み取れる動感や運動の仕組みについて整理して、まとめる。
9	①授業テーマ 動きを描く② ②授業概要 動感をより呈示しやすいような動感画の作成方法について学修し、作成することができる（E1、G1、K2）。 ③予習（120分） 運動における目線や表情などの重要性について調べ学習をしておく。 ④復習（120分） 自身が作成した作画から読み取れる動感や運動の仕組みについて整理して、まとめる。
10	①授業テーマ 動きを描く③ ②授業概要 作成された動感画から読み取れた情報を他者とディスカッションを通して、比較検討して説明することができる（E1、G1、K2）。 ③予習（120分） 自身が取り上げる運動について、その良し悪しを判断するポイントについてまとめる。 ④復習（120分） 自身が作成した作画から読み取れる動感や運動の仕組みについて整理して、まとめる。
11	①授業テーマ 運動を見抜く② ②授業概要 これまで学修してきた内容を踏まえて、運動における本質的徴表を見抜き、説明することができる（E1、G1、K2）。 ③予習（120分） これまでの授業内容を整理しておく。 ④復習（120分） 授業内で作成した課題について振り返りを行い、内容を修正しておく。
12	①授業テーマ 運動の体系化① ②授業概要 運動における本質的徴表から運動を体系化し、類型化していくことについて説明できる（E1、G1）。 ③予習（120分） 発表内容の整理を行っておく。 ④復習（120分） 整理、議論を踏まえプレゼンテーション内容の修正を行っておく。
13	①授業テーマ 運動の体系化② ②授業概要 体系化、類型化されたものからトレーニング手段や運動の学習方法について検討し、議論することができる（E1、G1、K2）。 ③予習（120分） プレゼンテーションを行うための情報を整理しておく。 ④復習（120分） プレゼンテーション内容を確認し、スポーツ運動学演習で学んだ内容について整理しておく。
14	①授業テーマ 総括レポート作成 ②授業概要 これまでの内容を整理して、総括レポートを作成することができる（E1、G1、K2）。 ③予習（120分） これまでの授業内容を整理しておく。 ④復習（120分） 呈示される模範解答の内容と比較して、内容の整理と修正をしておく。
15	①授業テーマ スポーツ運動学演習のまとめ ②授業概要 これまでのスポーツ運動学演習での議論内容について総括し、スポーツ運動学における研究の方法とその結果の解釈について説明することができる（E1、G1、K2）。 ③予習（120分） これまで授業内で行われた議論内容について整理しておく。 ④復習（120分） スポーツ運動学演習において取り扱われた文献や自身が事例的に示した研究における研究方法とその結果について整理しておく。

関連科目	スポーツ運動学原論[SSCS1308]
教科書	指定はありません。
参考書・参考URL	授業時に紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 授業時に連絡します ■オフィスアワー 火曜日 4 限
研究比率	

